

申告書(控)

(お手元の控としてご利用ください。)

住所

氏名



『受付証』が必要な方

『受付証』に住所・氏名をご記入のうえ、切り取って申告書と一緒に提出してください。

郵送で申告書を提出される方は『受付証』と返信用封筒(切手を貼付しご本人の宛先・宛名を記入したもの)を同封してください。これらが同封されている場合には受付印を押印した『受付証』をご返送します。



(表面)

06	本人確認(区処理欄)	1点 番号カード・免許証・保険証・年金手帳・旅券・障害者手帳・在留カード・他()	番号確認(区処理欄)	番号カード・住民票の写し・通知カード
		2点 学生証・公共料金領収証・戸籍簿本・整理番号印字の申告書・他()		
		3点 通帳・キャッシュカード・クレジットカード・シルバーパス・他()		
1 収入金額・必要経費	収入金額		必要経費	
	給与	円	特定支出	円
	公的年金等	円	※遺族年金・障害年金・福祉年金は記入せず、裏面5の⑤にご記入ください。	円
	雑業	円	※雑収入(業務・その他)、営業等収入又は不動産収入があった方は、裏面8もご記入ください。	円
	その他	円		円
	営業等	円		円
	不動産	円		円
	配当	円	※配当収入があった方は、裏面9もご記入ください。	円
	総合譲渡(短期・長期)・一時(該当に○)	円	特別控除	円
	農業・利子(該当に○)	円		円
※上記以外に、株式等譲渡(上場分・一般分)、先物取引、山林、退職又は分離譲渡(短期・長期)の収入があった方は、裏面にご記入ください。				
2 収入のなかった方	チェック☑してください → <input type="checkbox"/> 裏面5にご記入ください。また、該当する場合には、表面3の「配偶者」欄、「扶養親族(配偶者以外)」欄及び「本人に関する控除」欄についてもご記入ください。			
3 所得から差し引かれる金額	雑損控除(証明書添付)	損害金額	補てんされる金額	災害関連支出額
	医療費控除(明細書添付 ※領収書不可)	支払った医療費(イ)	補てんされる金額(ロ)	差引負担額(イ-ロ)
	社会保険料控除	国民健康保険	後期高齢者医療保険	国民年金(証明書添付)
	小規模企業共済等掛金控除(証明書添付)	介護保険	源泉徴収票に記載の社会保険料	
	生命保険料控除(証明書添付)	新生命保険料	旧生命保険料(9千円以下証明書不要)	介護医療保険料
	地震保険料控除(証明書添付)	地震保険料	旧長期損害保険料	
	配偶者控除	氏名	生年月日	障害者控除
	配偶者特別控除	個人番号(マイナンバー)	明・大・昭・平	特別・その他(身・精・知・他 級(度))
	同一生計配偶者	収入の有無	別居・国外別居	特別・その他(身・精・知・他 級(度))
	扶養者以外	給与収入	年金収入	特別・その他(身・精・知・他 級(度))
関本する人控除	ひとり親控除(該当に○)	ひとり親・寡婦(離別)・寡婦(離別以外)	障害者控除	
動労学生控除(証明書添付)	学校名	学年	特別・その他(身・精・知・他 級(度))	
4 寄附金に関する事項	都道府県・区市町村分(ふるさと納税(特別控除対象)・災害義援金(証明書添付))	円		
	住所共同募振基金、日赤支部、都道府県・区市町村分(特別控除対象以外)(証明書添付)	円		
	条例指定分	東 京 都(証明書添付)	円	
		世 田 谷 区(証明書添付)	円	

(裏面)

06	5 収入のなかった方の記載欄	収入のなかった方でも、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療制度、国民年金、児童関連手当、保育関連助成金等の保険料算定や資格審査の資料とするため、また非課税証明書発行のために必要ですので、該当の項目に記入のうえご提出ください。
	① 次の者から扶養又は援助を受けていた。	住所 _____ 電話番号 _____
	② 雇用保険(失業保険)・労災保険等の給付を受けていた。	_____年 月 日 から _____年 月 日まで
	③ 遺族年金・障害年金・福祉年金を受けていた。(該当に○)	遺族年金・障害年金・福祉年金 _____
	④ 生活保護法による生活扶助を受けていた(いる)。	_____年 月 日 から _____年 月 日まで(受給中)
	⑤ その他(生計手段について具体的に記入してください。例: 預貯金の取り崩し等)	

切 り 取 り 線

受付

令和6年度特別区民税・都民税申告書受付証

住所

氏名

様

世田谷区役所 課税課

〒154-8554 世田谷区世田谷4-21-27

第2庁舎1階1番窓口